

日本大学経済学部
グローバル社会文化研究センター
学 術 講 演 会

■ 講演テーマ ■

『コロナウイルス禍のアジア経済と今後の展望』

【講演者】

東京大学

名誉教授 末 廣 昭 氏

■ 講演概要 ■

今回の講演では、世界を席卷しているコロナウイルス（COVID-19）とアジア経済について考えてみます。講演の主な内容は3つで、（1）コロナウイルスの現状（感染者の地域別分布の推移や地域別の死亡率の比較など）、（2）ワクチンの接種率の国際的比較と中国のワクチン外交、そして（3）今回のコロナ禍で世界の動きの何が明らかになり、アジア諸国（や世界）が今後、どのように変化していくのか、とくに、グローバル化への警戒とデジタル経済の加速化、中国のグローバル外交のさらなる進展が見られることを指摘します。

日時:2021年12月14日(火) 18:00~19:30

開催方式:オンライン方式(Zoom)

対象:教職員・学生

本講演聴講ご希望の方は事前登録が必要です。

未登録の方は、聴講できません。

なお、登録手続きは、**2021年12月13日(月)正午**までといたします。

教職員・学生以外の参加につきましては、教職員からの紹介者のみといたします。

Center for Global Studies on Culture and Society
College of Economics, Nihon University